様式第 10

番 号 年 月 日

愛知県知事殿

住所 氏名(名称及び代表者氏名)

地域森林計画対象民有林における開発行為の実施計画について(通知)

このことについて、下記のとおり実施しますので、御承知ください。

記

- 1 開発行為の目的及び概要
 - (1) 目 的 (○○地区○○事業)○○○用地
 - (2) 概 要
- 2 開発行為に係る森林の所在場所及び面積
 - ○○市○○町○○○○○ 始め○○筆(森林の所在場所一覧表は別添資料 No.○のとおり)
- 3 当該地の選定理由
- 4 土地の利用状況

	転用後	0000	0000	0000	造成森林	小 計	残 置	森林	計
転用前					27907111	, , ,	15年生以下	16年生以上	
地域森林計画対象	保安林等	1 1 1 1	 	1 1 1 1	1 1 1 1	 	 		
民有林	普通林	1	1	1	1	 		1	
上記以夕	1 の森林								
農	地	 			 	 			
宅	地	1	 	1	 	 			
<i>₹</i> σ.	他					 			
言	+								

- 注 1 面積は、ヘクタールを単位とし、小数第2位まで記載すること。
 - 2 保安林等は、保安林、保安林予定森林及び海岸保全区域内の森林を記載すること。
- 5 開発行為の予定期間

年 月 日から 年 月 日まで

6 災害の防止計画

(1) 防災施設等の概要

ア 主な防災施設の名称及び数量

区		分	施	設	の	名	称	及	び	数	量		
排	水施	設	U字溝 ヒューム管 ○○○○	00 \$00 \$\$	(L = (L =	m) m) m)							
沈	砂	池	(工事中) (工事後)										
調	節	池	(工事中) (工事後)										
法记	面保護旗	施設	種子吹付 擁 壁	H=	㎡、張芝 m(I		m² m),	H=	m ()	L =	m)		
そ	の	他	切土 盛土 残土(不足	m³、 m³、 土土)、	1:07 1:07 m ³	~1:	Ō	里方法	(不足士	この調達	達方法)	を記載	する。

イ 防災施設の維持管理方法

(2) 設計根拠(使用した計算式及び因子等)

ア 排水施設

(ア) 雨水流出量

 $Q_1 = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$

Q₁: 雨水流出量 (m³/sec)

f :流出係数(林地=〇〇、草地=〇〇、裸地=〇〇)

r : 設計雨量強度 (○○mm/hr)

A : 集水区域(ha)

(4) 排水施設流量

 $Q_2 = v \cdot a$

(流 速)

$$v = \frac{1}{n} \cdot R^{2/3} \cdot I^{1/2}$$

Q2:排水流量(m³/sec)

v:流 速(m/sec)

a : 断面積 (m²)

v:流速(m/sec)

n : 粗度係数(U字溝=○○、ヒューム管=○○、

 $\triangle\triangle\triangle=\bigcirc\bigcirc)$

R:径 深

イ 土砂の流出量等

(ア) 工事中

裸地=○○m³/ha 年、草地=○○m³/ha 年、△△=○○m³/ha 年

(イ) 工事後(○年間貯留する)

裸地=○○m³/ha 年、草地=○○m³/ha 年、△△=○○m³/ha 年

(†) **♦♦♦♦**

(沈砂池、擁壁、洪水調節池等)

7 水害の防止計画

(1) 水害防止の必要性の有無及びその検討結果等

有(又は無)(検討結果:

なお、○○川の河川管理者である○○とは、○年○月○日に打合せを行い同意を得ている。

(2) 洪水調節池等の計画

- 8 水の確保等の計画
 - (1) 水量の確保の必要性の有無及びその理由等

有(理由:) (確保の方法:)

無

(2) 流出土砂による水質悪化の防止計画

9 環境の保全計画

(1) 残置森林等の面積及び割合

	区	分	面	積	割	合	備	考
開発前	① 保安林	等+開発行為を とする森林	1	na		(%)		
	② 残置森林	ア 15年以下		 	ア/①×	100		
		イ 16年生以上	1		1/1)×	100	残置森林率	
開発後	③ 造	成 森 林		 	3/1)×	100		
	④ 小	小 計		 	(2+3)	/①× 100	森林率	
	⑤ 造	成 緑 地		 	(5)(1)×	100		
	6	計			(4+5)	/①× 100		

- (2) 造成森林、造成緑地の造成方法
- (3) 残置森林等の維持管理方法
- (4) 景観の維持対策
- 10 その他参考となる事項
 - (1) 事業実施等の許認可の状況
 - (2) その他

11 添付書類

- (1) 資 料
 - ①森林の所在場所一覧表 ②工事工程表 ③現況写真
 - ④防災施設計画計算書(排水施設、沈砂池、洪水調節池等に係るとりまとめ表等) 等
- (2) 図 面
 - ①位置図 ②区域図(公図の写し) ③現況図 ④利用計画平面図 ⑤土工定規図(標準断面図)
 - ⑥防災等計画平面図 ⑦構造図(沈砂池、排水施設、擁壁等) ⑧流域現況図 等

注意事項

- 1 森林法第10条の2第1項第1号に該当する場合は、代表者氏名の記載を省略することができる。
- 2 1の(1)「目的」欄には、事業名を()書き等で記載する。
- 3 1の(2)「概要」欄には、再生可能エネルギー発電設備の設置が目的である場合には、発電容量、FIT 認定の有無、風力発電の場合は風車の基数を記載すること。
- 4 2 「開発行為に係る森林の所在場所及び面積」欄については、筆ごとの一覧表はなくてもよいが、字単位に集計した筆数と面積(全体からの按分面積でもよい)の一覧表を添付する。
- 5 6の(1)のア「災害の防止計画」の「主な防災施設の名称及び数量」欄の「その他」の項目については、土量の状況(切土、盛土、残土及び不足土)を記載する。
 - なお、残土又は不足土がある場合には、その処理(又は調達)の場所及び方法を記載する。

- 6 6の(1)のイ「災害の防止計画」の「防災施設の維持管理方法」欄は、工事中及び工事後の沈砂池 等の安全対策等を具体的に記載し、防災施設の維持管理方法について開発完了後も含め記載する。
- 7 6の(2)「災害の防止計画」の「設計根拠」欄及び7「水害の防止計画」欄については、使用した 計算式及び因子を必ず記載する。なお、林地開発許可の審査基準と異なる場合には、"○○○設計基 準による"等と必ず明記する。
- 8 7の(1)「水害の防止計画」の「水害防止の必要性の有無及びその検討結果等」欄には、河川等管理者の同意の状況についても記載すること。
- 9 10 の(1)「その他参考となる事項」の「事業実施等の許認可の状況」欄は、事業実施上の許認可及 び土地利用規制上の許認可等の手続きの状況(法令名、規制の内容、申請年月日等)を記載するこ と。
- 10 11 の(1)「資料」の「④防災施設計画計算書」とは、排水施設、沈砂池、洪水調節池等に係るとりまとめ表等をいう。
- 11 11 の(2)「図面」は、「林地開発許可申請書の様式、及び記載例」の「図面作成上の留意事項」を 参考に作成すること。
- 12 11 の(2)「図面」のうち②区域図、③現況図、④利用計画平面図、⑥防災等計画平面図には、地域 森林計画対象森林を明示する。

様式第 11

連絡調整に係る林地開発行為の変更届

番 月 月

愛知県知事殿

住所 氏名 (名称及び代表者氏名)

年 月 日付けで通知しました林地開発行為を、次のとおり変更します。

施行森林	施行地 (開発行為に係る 森林の土地の所在場所)						
開	発	行	為	の	目	的	
変		更		理		由	
変		更		事		項	
婧	Ħ				ź	考	

様式第 12

連絡調整に係る林地開発行為の着手届

年 月 日

愛知県知事殿

住所 氏名 (名称及び代表者氏名)

年 月 日付けで連絡調整をした林地開発行為は、次のとおり着手しました。

施和森林	行地 (開発行為に係る 林の土地の所在場所)	
開	発行為の目的	
着	手 年 月 日	
完	了予定年月日	
工事	住所	
工事施行者	氏 名 (名称及び代表者氏名)	

備考

備考欄には、他法令等の 許可年月日及び許可番号を 記載すること。

様式第 13

連絡調整に係る林地開発行為の完了届

年 月 日

愛知県知事殿

住所 氏名 (名称及び代表者氏名)

年 月 日付けで連絡調整をした林地開発行為は、次のとおり完了しました。

施和森林	行地(開発行為に係る 林の土地の所在場所)	
開	発行為の目的	
完	了 年 月 日	
工事	住	
工事施行者	氏 名 (名称及び代表者氏名)	
備	考	1 工事記録写真・・・・・別添1のとおり 2 出来形平面図・・・・・別添2のとおり

備考

- 1 工事記録写真は、全景 写真を中心に添付するこ と。
- 2 出来形平面図には、切 土・盛土の区分、法面の 位置、施設又は工作物の 種類毎の位置、残置した 森林の区域、写真撮影位 置等を明示すること。